

令和3年6月

魚津市定例記者会見



日時：令和3年5月28日(金) 午後3時00分～午後3時45分

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、NICE-TV、ラジオミュー

市当局出席者：市長、総務部長、民生部長、財政課長、健康センター所長、情報広報課長

1. 市長からの発表事項

(1) 新型コロナウイルスワクチン接種について

- ・5月17日から個別接種がスタートした。5月22日にはワクチンが本格的に入荷され、翌23日ごろからは医療機関での個別接種が1日に約300件弱のペースになった。労災病院では明日5月29日から少し規模が大きい個別接種が始まり、個別接種全体の予約状況は週に1500～2000ほどになる。さらに旧総合体育館での集団接種が、木曜午後・土曜午後・日曜午前・日曜午後の週4サイクルで行われる。集団接種では接種のレーン(列)を4レーン設定できるが、当初は3レーンでスタートする。1レーン当たり1時間に20人接種でき、半日の3時間では1レーン60人、3レーンだと3時間で180人、(1週間の)4サイクルで720人が接種できる。4レーンを稼働すると週960人になる。個別接種がフル稼働すると週で約2000人、集団接種がフル稼働すると週で約1000人となり、合わせると1週間に約3000人となるイメージ。7月末までに65歳以上の高齢者14,500人に打ち終わるとすると、単純計算で14,500人×2回で29,000回の接種が必要。週3,000回の接種だと10週間ぐらいかかるので7月末までに終わる(計算になる)。なお、これは100%の人が接種を希望して受けた場合のため、実際には少し余裕を持って接種できるのではないかと思う。
- ・今後集団接種予約に空きが発生した場合は、障害者支援施設の入所者や病院の長期入院患者、またそれらの施設の従事者に接種を受けてもらいたい。なお接種時期については、6月の前半まではワクチン予約が一杯のため、それ以降になると考えている。さらに当日のキャンセルについては、これまでは施設の従事者等に接種を受けてもらっていたが、加えて集団接種会場の担当者にも接種を受けても

らいたい。そして、まだまだワクチンの対象にならない小学生や保育園児への感染リスクを下げるために、小学校や保育園の先生への接種も考えている。

- ・ 5月26日（25日末）現在の接種状況については、高齢者で1回目の接種を終えた人が2,092人で14.4%、2回目も終了した人については、1回目から3週間間隔を開けなければならないので、まだ358人で2.5%にとどまっている。

(2) 6月市議会定例会に提案する補正予算の主な内容について

- ・ 6月補正予算は総額8,800万円あまり。うちコロナ対策は5,500万円、それ以外は3,300万円となる。
- ・ コロナ対策としては、オールジャパン（全国一律）の制度である子育て世帯生活支援特別給付金支給事業（低所得世帯向け）や公共施設の自動水栓化、体育施設のトイレ洋式化などの感染対策を実施したい。コロナ対策以外の補正予算については土木災害復旧事業が中心となっている。
- ・ 子育て世帯生活支援特別給付金支給事業（低所得世帯向け）については、対象者は約600名を見込んでおり、3,000万円あまりの予算を計上した。
- ・ 公共施設の自動水栓化については、公民館やコミュニティセンター、体育施設（夜間開放施設）など合わせて128か所において、手洗器用水栓の一部を自動水栓に切り替えるもの。
- ・ 体育施設感染症対策事業では、桃山運動公園及び夜間開放施設の和式トイレを飛沫拡散防止に効果が見込める洋式トイレに改修する。
- ・ 高齢者向けワクチン集団接種熱中症対策事業は、これから夏場を迎えるワクチンの集団接種会場において、高齢者に経口補水液を配布するもの。先日包括連携協定を結んだ大塚製薬㈱からも経口補水液の無償提供をいただく予定となっている。
- ・ コロナ関係ではない事業で、6次産業化施設整備事業を実施する。この7月から（新川学びの森天神山交流館敷地内に）ワイナリー施設を整備し、今年度中に完成する予定。現地で栽培したブドウを使って醸造したワインが出荷されるのは令和7年になる。ワインの生産量は2万2千本でスタートする予定。この事業は農福連携事業として国の補助金も受けて実施する。国の補助金の10%の額として市で800万あまりを計上している。
- ・ 6月補正ではないが、新型コロナウイルス感染症関連として「市内飲食店における新型コロナウイルス感染症対策の強化」を実施する。5月に入ってから27日までに魚津市民から22名の方がコロナに感染された。1年前の令和2年8月、市内で2件のクラスターが発生した月でも23名の感染者だったことを考えると多い。ここでコロナ対策をしっかりと取る必要があると考えている。そこで、当初予算で予算措置した「魚津市飲食券取扱事業者支援助成金」について制度拡充を行う。1つ目として、これまで1度きりだった助成の回数を、コロナ対策の強化であれ

ば、2度目の助成も可能とした。2つ目は、従前は5万円だった補助上限額を10万円に拡大した。さらに、補助対象物品も幅広く認めることとなった。また、4月に販売したプレミアム付飲食券については、使用期限を6月末から7月末まで1か月間延長することとした。

- ・この記者会見後に市内飲食業事業者のみなさんに対して、助成制度拡充のお知らせと感染対策徹底の呼びかけの会合を行う。

(3) 電子地域通貨 MiraPay（ミラペイ）を発行します

- ・新型コロナウイルス感染症拡大により消費が減退している。地域内での価値の循環を促進するため、国の交付金を活用したプレミアム付きの電子地域通貨を発行する。発行額は2億6千万円、発行日は7月9日、取扱店舗は現時点では100店舗以下だが、これから増やしていく。MiraPay（ミラペイ）の特徴はカード型もしくはスマホ画面を用いてのキャッシュレス決済であること。チャージを行うことで何度でも繰り返し使用できる。また、10月からは行政ポイントを貯めることができる。
- ・プレミアム付きのMiraPay購入の方法は4通り。①購入引換券申込書を市役所に郵送、②市役所に直接持参、③インターネットの専用フォームからの申し込み、④FAXとなっている。申込期間は6月17日まで。申込者多数の場合は抽選となる。プレミアムチャージ分の使用期限は11月30日まで。
- ・プレミアム分を使用できる期間が終了した後は、行政ポイントを付与していくことで魅力を高め、地域内でお金を回すための土台としたい。行政ポイント付与の詳細については検討中。健康づくり、環境、ボランティアに関するものを想定している。

(4) 高校生対象合同企業・業界説明会を開催

- ・令和3年6月18日の午後に、ありそドームで魚津市内の高校生を対象にした合同企業・業界説明会を開催する。学校側にも協力してもらったことにより多くの生徒の参加が見込まれている。高校生が地元に着するための良い機会になることを期待している。

(5) 市制70周年記念事業シンボルマークのデザインを募集します

- ・魚津市は、昭和27年4月1日に市制を施行し、令和4年4月1日に市制70周年の節目を迎える。現在、令和4年度に実施する市制70周年記念事業の内容を検討しているが、その一連の事業で使用するシンボルマークを募集する。

- ・募集期間は6月1日から7月16日まで、市内外を問わず、誰でも郵送、FAX、電子メール、直接提出により応募できる。
 - ・市制70周年庁内準備会での選考を踏まえ最終決定する。採用作品の応募者には3万円相当の謝礼を贈呈する。奮って応募して欲しい。
- (6) 「DX推進本部」及び「DX推進室」の設置について
- ・6月1日から庁内に「DX推進本部」及び「DX推進室」を設置する。設置の目的は、①マイナンバーカードの普及促進、②オンラインによる行政手続き・行政サービスの利用実現、③AI・RPA等新技術の活用によるサービス向上・業務効率化、④地域社会のデジタル化やデジタルデバイド解消など。組織のイメージは、DX推進本部が市長を本部長とし、計画策定や推進施策の協議を行い、DX推進室が企画部長を室長とし、部局間連携や事務遂行のための調整を担うものとなっている。
 - ・今後の予定は6月1日に第1回DX本部会議を開催し、6月8日にデジタルデバイド解消を目指したスマホ教室を開催する。場所は魚津市立図書館。午前中はスマホを持っていない方を対象とし、午後はずでにスマホを持っている方を対象とした教室を開催する。講師には、本年4月に市の公式LINEアカウントを運用開始した縁から、ソフトバンク株式会社に依頼している。
- (7) 「つくろう！魚津のまち ～教えて！ソーゴーケーキ～」魚津市総合計画を紹介する動画を公開
- ・今年度からの第5次魚津市総合計画がスタートした。この総合計画の内容を市内外の方々に理解してもらうために動画を制作した。動画は全3回シリーズで、この度第1回の動画が完成した。魚津市公式Youtubeチャンネルとケーブルテレビで公開する。今後7月末までに第2回、第3回の動画を完成させ、8月以降に計画している市長のタウンミーティングにおいても動画を活用したい。
 - ・内容は、第1回のタイトルが「総合計画っちゃんんけ？知っとるけ？」、第2回では人口減少への対策などを紹介し、第3回では10年後の将来のイメージ像を紹介する。

2. 質疑応答の内容

「市内飲食店における新型コロナウイルス感染症対策の強化」について

《記者からの質問》

飲食店の感染症対策を強化する理由は何か。

《回答》（市長）

飲食店もその利用者にも感染防止に全力で取り組んでいる姿勢が見える形で示したかった。既にある制度の拡充を行い、市民総ぐるみで安心して飲食できる街を目指したい。

「衆議院議員選挙（富山2区）」について

《記者からの質問》

宮腰衆議院議員の引退表明についてどう思うか。次回の衆議院議員選挙に立候補を表明している上田県議についてどう思うか。また保守分裂のような形にはならないようだが、そのことについてはどう思うか。

《回答》（市長）

今回の引退表明については、大きな決断をスパッと表明されたことに、政治家としての決断力を感じた。宮腰先生には市の課題や要望に積極的に耳を傾けていただき、省庁にも一緒に回っていただくなど力を尽くしていただいた。次にどなたが候補者になられても県東部（新川地域）のビジョン明確に描いて頂き、個々の自治体の特性と連携させられる方であってほしい。上田県議については、そのようなことを考えていただけの方だと思っている。保守分裂については、仮にそうなったとしてもそれはそれでよかったのではないかとと思っている。